

愛・地球博閉幕1周年記念事業

Friends of Love The Earth 2006 出演者プロフィール&メッセージ

◇松任谷 由実 (まつとうや ゆみ)



1954年1月19日、東京生まれ。通称ユーミン。72年、多摩美術大学在学中にシングル「返事はいらない」で旧姓・荒井由実としてデビュー。翌年、ファースト・アルバム「ひこうき雲」をリリース。オリジナル・アルバムは今年5月24日発売の「A GIRL IN SUMMER」で通算34枚。さらに、ベスト・アルバムを含めた41枚のうち21枚がオリコンヒットチャートの1位を獲得しているが、これは女性アーティストの記録としては歴代1位。通算セールス枚数は4200万枚となっており、これも女性アーティストとして1位の記録である。昨年9月には、愛・地球博最大の音楽イベント「Love The Earth」のファイナルを飾るスペシャルステージで、アジアのトップアーティストと

初共演。参加アーティストとのコラボレーションにより生まれた「Smile again」をPC&モバイル配信のみでリリース。その後、初出場のNHK紅白歌合戦でのパフォーマンスが話題を呼び、今年2月にCD化された。

■メッセージ

昨年の9月23日EXPOドームのステージに立った時私は、これは長い長い道のりの最初の一步なんだ、という事に気づきました。「Smile again」という曲を書き、アジアの友人達と出会い、この日を目指してきた数ヶ月。達成感があったけど、でもこれは到達点では無い、スタート地点だったんだと強く感じたのを憶えています。そう、それはスタートでした。その後「Smile again」という曲と共に韓国に行き上海に行き、そして2006年Friends of Love The Earthは次のステップを迎えました。それはきっとEXPOドームで具体的な形になった思いが各国のアーティストにも届いたから。「Smile again」は数々の奇跡的な偶然により成り立ちました。でも2006年のFriends of Love The Earthに奇跡は必要ありません。このプロジェクトが継続し発展していく事への大勢の人達の思いという必然があるから。

◇ 平原 綾香（ひらはら あやか）



1984年5月9日、東京生まれ。2003年12月、ホルストの組曲「惑星」の「木星」に、日本語詩をつけた「Jupiter」でデビューし、2004年日本レコード大賞新人賞、2005年日本ゴールドディスク大賞特別賞をはじめ、数々の賞を獲得した。その後もシングル「明日」「Eternally」「誓い」、アルバム「From To」「4つのL」など、次々とヒット曲をリリース。最新シングルは2006年7月19日にリリースした「Voyagers／心」。

■メッセージ

世界中の心と心を繋ぐ音楽の和に参加できてとても嬉しいです。みなさんにたくさんの愛が届きますように…。

◇ サンディー・ラム



1986年にSONY MUSICと契約し、デビューアルバム「Love I Don't Know」をリリース。その後も世界有数のレーベルのもと、数々のヒット曲を世に送り出している香港の世界的トップシンガー。アジア環太平洋ベスト女性アーティスト賞など、数々の賞を獲得しているほか、ミュージカルなどでも活躍している。

■メッセージ

- ・ 現在、エイズ/HIVによる孤児は1500万人いるが、2010年までにはその数が2500万人にまで増える可能性がある
- ・ 3秒間に1人の子供が、エイズか貧困のために亡くなっている
- ・ 清潔な水を得られない人、1日1ドル以下で暮らす人々は10億人にもものぼる
- ・ 観測史上、最も暑かった年の上位10位は、すべて過去14年間に起こっている

これらは私たちが直面している現実のほんの一部に過ぎません。これは第三世界の国で起きている人類の危機というだけではなく、ひょっとすると全人類の危機でもあるのかもしれない。その代償は高く、私たちみんなが一つになって、この問題の重大さを受け止めなければならないでしょう。

私はこのプロジェクトに参加できたことを光栄に思っています。アジア出身のミュージシャン仲間と共に、世界中の人々が地球の問題に目を向けてくれるよう働きかけたいと思います。そして、子供たちのために、より良く安全な世界を作ることに関与したいと願っています。

◇ミー・リン



1975年生まれ。ベトナムを代表する4大歌姫のひとり。2006年、「Chat with Mozart」がベトナムのアルバム・オブ・ジ・イヤーに選出される。その他、テレビ、FMラジオ、新聞などのアーティスト・オブ・ジ・イヤー、ベスト・アーティストなど多数受賞。アジアのみならず、アメリカ、ヨーロッパにも活動の場を広げている実力派シンガー。

■メッセージ

「FOLTEに参加することができてとても光栄です。FOLTEのスピリットと音楽が、アジア各国から私たちを導いてくれました。言葉は違って音楽はひとつ、音楽はすべての壁を乗り越えられる共通語です。皆さんも私達と一緒に歌ってください！」

◇ディック・リー



シンガポールのシンガー・ソングライター。90年、中国の伝統芸能「京劇」のくまどりをした男がジャケットに描かれているアルバム『マッド・チャイナマン』が、日本の大型レコード店を中心にヒット。「アジアのポピュラー・ミュージックは日本で売れない」という定説を覆した。自身の作品のみならず、香港の林憶蓮(サンディ・ラム)や日本のサンディーなどのプロデュース・ワークでもその才能を発揮している。

■メッセージ

「去年のLove The Earthは、私にとって大変意味深く忘れられない経験であり、あのプロジェクトにまた参加できるのでとても興奮しています。アジアからの才能あるアーティスト達と共に、特にユーミンと仕事ができるのが楽しみです。また音楽だけが生み出すことができる“ハーモニーとピース”というユニバーサルなメッセージを別の形でクリエートすることをさらに楽しみにしています」

◇amin(アミン)



上海生まれのシンガーソングライター。13歳で中国全土の弾き語りコンテストで優勝し、本国でトップアーティストとして活躍。10年前に来日し、以降中国と日本とで音楽活動が続けている。2005年、松任谷由実 with Friends Of Love The Earthの一員として、「愛・地球博」ファイナルテーマソング「Smile again」を発表。同年末、中国人歌手として史上初となるNHK「紅白歌合戦」への出場を果たした。

■メッセージ

去年9月、とても光栄なことに、“Friends Of Love The Earth”の一員として、ユーミンさんと一緒に“愛・地球博”を始め、いろんなステージに立って、私たちのメッセージを込めた曲“Smile again”を歌ってきました。その後、私は日本でも中国でもこの“Smile again”を歌い続けて、たくさんの人々から共感を頂きました。上海で、この歌をそのまま四ヶ国語でカバーしてくれた人もいたという話も聞きました。本当に嬉しいです！ “one day”“one time”ではなく、やり続けていく、広げていくことはつくづく大切なことだと感じています。去年からちょうど一年、“Friends Of Love The Earth 2006”ということで、今年はまたさらにアジアの色々な国のアーティストと一緒に楽しいステージができそうですね！ 今年のテーマは“コラボレーション”、この“コラボレーション”によって、みんなが互いに交流し合えたり、認め合えたり、理解し合えたり・・・ この“素晴らしい時”、“素晴らしい空間”を、今からとても楽しみにしています！

◇許可(シュイ・クウ)



中国・南京生まれ。国立中央音楽学院を卒業の83年、国立中央民族楽団の首席二胡奏者(コンサートマスター)に就任。2000年より、ヨーヨー・マの「シルクロード・プロジェクト」に参加。最近ではボストンやニューヨーク・カーネギーホールでのリサイタルの成功、ボストン・モダン・オーケストラ、上海カルテット、NYメトロポリタン交響楽団との共演、フィンランド国際音楽祭でのリサイタルなど、二胡の第一人者としてますます国際的な活躍を行っている。CDはBMGより10種類をリリース。近年では、XUAレコードより、《賽馬》、《愛の悲しみ》、《思念》を発売。2004年10月、初のDVD《チャールダーシュ》と2005年5月、二枚目のDVD《風韻》をリリースした。

■メッセージ

昨年、世界から注目された愛知万博は非常に成功でした。日本の国民たちはSmile、世界の人たちもSmile、今年も一週年記念の際にアジアの皆さんともう一度ユーミンの「Smile again」作品を歌うことは大変意味があると思います。これから、世界の人々がSmile出来る時代になることを心より期待し、皆で力をあわせて頑張りましょう。

◇MC SNIPER (エムシー・スナイパー)



坂本龍一久々のオリジナル・アルバム『CHASM(キャズム)』の冒頭に収録され、更に先行シングル・カットされた「undercooled」にフィーチャされていた韓国人ラッパー。地元韓国では既に2枚の大ヒット・アルバムを持ち、コリアン・ヒップホップ界のスターMCであった彼が日本に紹介されたのは、このフィーチャリングがきっかけ。その彼の2枚のアルバムは、『CHASM』と同じく2004年2月25日に日本発売された。

■メッセージ

東アジアの緊張の中で、世界は一つの都市であることを言うには、あまりにも敏感な時期であるため、一文字、一文字慎重に書きました。こんなに素晴らしい音楽とテーマに接する機会を頂いて大変有難うございました。

◇FAR EAST RHYMERS (ファー・イースト・ライマーズ)



2003年京都で結成されたHIPHOPユニット3人組。HIPHOPというバックグラウンドを持ちながら、その音楽性は多方面からも評価されている。JAZZ・CROSS OVER・FUNK・HOUSEなど、さまざまなエッセンスを散りばめたトラックも魅力のひとつ。また、ポジティブでハイセンスなグルーブ感を兼ね備えた彼らのサウンドは、21世紀のミュージックシーンにHIPHOPの雄として一石を投じる期待感を秘めている。

■メッセージ

アジアのアーティスト同士が交流する機会は意外なほど少ないし、ことHIP HOPに関して言えば、やはり欧米との交流の方が盛んなのが現状。せっかくこんなに近くにいる、同じ音楽をしているのだからもっと交流をするべきだと思っていました。アジアの国々は計り知れないパワーを持っています。このようなプロジェクトで、それらの国々のアーティストが一つになれば必ず大きな流れとなると思います。お互いの国への理解を深めるのにも役立つだろうし、世界にアジアをアピール出来る機会でもあります。今回のプロジェクトを新たなきっかけとして、このような機会が増えていくことを願います。

◇雪蓮三姉妹（シュエリエン）



中国チベット族の三姉妹によるボーカルグループ。「雪蓮～シュエリエン」とはチベットの荒野で風雪に耐えて花を咲かせる高山植物。ヒマラヤ山脈を望む標高 4000メートルの高地で生まれ育った彼女たちの、厳しい自然の中で鍛えられたその声は、驚異的な声量を誇る。2003 年から芸能活動をスタートさせ、中国中央テレビ（CCTV）をはじめとする数々の音楽番組や音楽祭に出演し、中国の人々を魅了してきた。2005 年にはアルバム「シュエリエン Xuelian」で日本デビューを果たしている。

■メッセージ

「古い村から飛び出して、いろいろな人たちに私たちの声と音楽を届けるのが幼い頃からの夢でした。音楽と歌声は大きな翼となってチベットから北京、そして日本へと、私たちを連れてきてくれました。異国でのコンサートにおいて、国や民族が違っても音楽の翼の下では、皆の魂は一緒になり、お互いにもっと知り合いたいと願っていることに気付かされました。この世界に入ってから、私たちとは違う音楽を作っている人たちと仕事をしてみたいと、ずっと思っていました。今回、FOLTEプロジェクトに声をかけていただいて、まさにこの時を待っていたという感じです。今回のコンサートで、できるだけたくさんの人に、チベット民族音楽を通して自然や愛の魅力が伝えられれば嬉しいです。また、ユーミンさんはじめ、参加するアーティストの皆さんには、ぜひ私たちのふるさとに来ていただいて、チベットの生活と音楽を肌で感じてもらえたらいいな、と思っています」